

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【公開番号】特開2007-246827(P2007-246827A)

【公開日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-037

【出願番号】特願2006-74968(P2006-74968)

【国際特許分類】

C 0 9 J 153/02 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 153/02

C 0 9 J 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月13日(2009.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 高分子量スチレン系ブロックコポリマーを少なくとも含有する樹脂組成物 100重量部 に対して、(B) 無機系充填剤を 10～200重量部 含有することを特徴とするホットメルト組成物。

【請求項2】

接着後に接着層を切断および／または切削する被着体に対して使用されることを特徴とする、請求項1記載のホットメルト組成物からなる接着剤組成物。

【請求項3】

請求項1記載のホットメルト組成物を用いて被着体を接着後、接着層を切断および／または切削することを特徴とする加工方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

(A) 高分子量スチレン系ブロックコポリマーを少なくとも含有する樹脂組成物 100重量部 に対して、(B) 無機系充填剤を 10～200重量部 含有することを特徴とするホットメルト組成物により前記課題を解決できた。

前記ホットメルト組成物によって切削加工時の刃への付着を抑制できた機構は明らかではないが、摩擦熱による高温下でのホットメルト組成物の性状特性、刃への濡れ性、または一旦刃に付着した場合の離型性などを改良できたためだと推察される。